

岩手県金融経済概況（平成 28 年 10 月）

1. 概 況

県内経済は、個人消費の一部に弱めの動きがみられるものの、基調的には緩やかな回復を続けている。

最終需要の動きをみると、個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの底堅く推移している。設備投資は増加している。公共投資、住宅投資は、高水準で推移している。

生産は、横這い圏内の動きとなっている。雇用・所得環境は、改善している。

消費者物価（除く生鮮食品）は、19 ヶ月振りに前年並みとなった。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの底堅く推移している。

百貨店売上高（平成 28 年 10 月）は、雑貨、身回品の好調を主因に 3 ヶ月振りに前年を上回った（前年比+0.5%）。

スーパー売上高（全店舗ベース；平成 28 年 9 月）は 2 ヶ月連続で前年を下回った（前年比△2.1%）。

新車登録・届出台数（登録車+軽；平成 28 年 10 月）は、2 ヶ月連続で前年を上回った（前年比+4.3%）。

(2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（平成 28 年 10 月）は、4 ヶ月連続で前年を下回った（前年比△13.3%）。

新設住宅着工戸数（平成 28 年 9 月）は 2 ヶ月連続で前年を下回った（前年比△7.8%）。

—— 主力の持家は 5 ヶ月振りに前年を下回った（前年比△17.8%）ものの、

貸家、分譲ともに 2 ヶ月振りに前年を上回った（貸家：同+0.5%、分譲：同+84.6%）。

民間設備投資（短観ベース；平成 28 年度計画）は、全産業ベースで前年度を上回る計画となっている。

—— 平成 28 年度（計画）は、一部に下方修正の動きがみられるものの、幅広い業種で新規出店等の増投資、更新投資などが計画されており、全産業ベースで前年度を上回る（前年度比+8.9%）計画となっている。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（平成 28 年 9 月）は、高水準ながら 11 ヶ月連続で前年を下回った（前年比△8.7%）。

3. 生産動向

生産は、横這い圏内の動きとなっている。

鉱工業生産指数（季節調整値；平成 28 年 9 月）は、2 ヶ月連続で前月を上回った（前月比+0.1%）。

—— 9 月の動向を主要業種別にみると、生産用機械、窯業・土石製品、輸送機械が上昇し、情報通信機械、電子部品・デバイス、鉄鋼が低下した。

なお、四半期の動きをみると、28/4～6 月に 5 四半期振りに前期比が増加に転じた（前期比+3.0%）ものの、7～9 月は再び減少（同△0.8%）となった。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善している。

有効求人倍率（季節調整値；平成 28 年 9 月）は、1.28 倍となった。

—— 平成 25 年 5 月以降 41 ヶ月連続で 1.00 倍以上を記録。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査；平成 28 年 9 月）は、前年を上回った（前年比+0.3%；平成 24 年 3 月以降 55 ヶ月連続で増加）。

雇用者所得（県内合計値；平成 28 年 8 月）は、常用雇用指数は（前年比+1.0%）4 ヶ月連続で前年を上回ったものの、名目賃金指数（同△1.4%）が前年比減少したことから、3 ヶ月振りに前年を下回った（同△0.5%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）（平成 28 年 10 月）は、前年並みとなった（前

年比 0.0% ; 前年比がゼロ以上となったのは平成 27 年 3 月以来 19 ヶ月振り)。

6. 企業倒産

企業倒産 (平成 28 年 10 月) は、5 件、11.0 億円 (前年同月 : 4 件、4.4 億円) と低水準を維持している。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出 (平成 28 年 9 月) は、預金は前年並みとなる一方、貸出は前年を下回った。また、貸出約定平均金利は、引き続き低下地合いを辿っている。

以 上

本件に関する問い合わせ先 :

日本銀行盛岡事務所 TEL : 019-624-3622 (代) <http://www3.boj.or.jp/morioka/>